

# 茨城県地域医療構想

## — 骨子案 —

### 1. 地域医療構想の概要

- (1) 我が国における高齢化の進展及び医療費の動向
- (2) 社会保障制度改革推進法に基づく改革の流れ
- (3) 医療法における「地域医療構想」の規定
- (4) 地域医療構想の概要

### 2. 茨城県の現状と 2025 年の予測

- (1) 茨城県の人口動態
- (2) 茨城県の医療・介護資源の状況
- (3) 患者の医療需要の動向（2013 年・2025 年）
- (4) 2025 年における必要病床数
- (5) 在宅医療等の必要量

### 3. 地域医療構想の実現に向けた今後の対応（施策）

- (1) 茨城県における医療提供体制の現状と課題
- (2) 地域医療構想の実現に向けた今後の対応（施策）
  - ・ 現行の施策の状況
  - ・ 今後の施策の方向性

### 4. 構想区域ごとの必要病床数と今後の対応（施策） ⇒ 別紙イメージを参照

#### (1) 水戸構想区域～(9) 古河・坂東構想区域

- ① 医療提供体制の現状と課題
- ② 人口動態
- ③ 医療資源の状況

※レセプト分析（国保・後期高齢）による医療機関単位の入院患者の医療機能区分構成を示す。

- ④ 患者の医療需要の動向（2013 年・2025 年）
  - ・ 医療機能区分別（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）
  - ・ 主要疾患別（がん、脳卒中等）

※レセプト分析（国保・後期高齢）による入院患者の流入出の状況を示す。

- ⑤ 2025 年における必要病床数
- ⑥ 在宅医療等の必要量
- ⑦ 地域医療構想の実現に向けた今後の対応（施策）

### 5. 今後の検討体制

## 4. 構想区域ごとの必要病床数と今後の対応（施策）

## (1) ○○医療圏の概況

## ① 医療提供体制の現状と課題

現状と課題
●
●
●

## ② 人口動態

➤ 構成市町：○○市、○○町、・・・

図表 将来人口推計（2010年-2040年）

(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総人口（○○医療圏）							
0-14歳							
15-39歳							
40-64歳							
65歳以上							
(再掲) 75歳以上							

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

図表 2010年の人口を100とした場合の各年の人口指数

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総人口（○○医療圏）	100.0						
0-14歳	100.0						
15-39歳	100.0						
40-64歳	100.0						
65歳以上	100.0						
(再掲) 75歳以上	100.0						
総人口（県全体）	100.0						
65歳以上	100.0						
(再掲) 75歳以上	100.0						

### ③ 医療資源の状況

➤〇〇医療圏には・・・

図表 病院病床数の状況

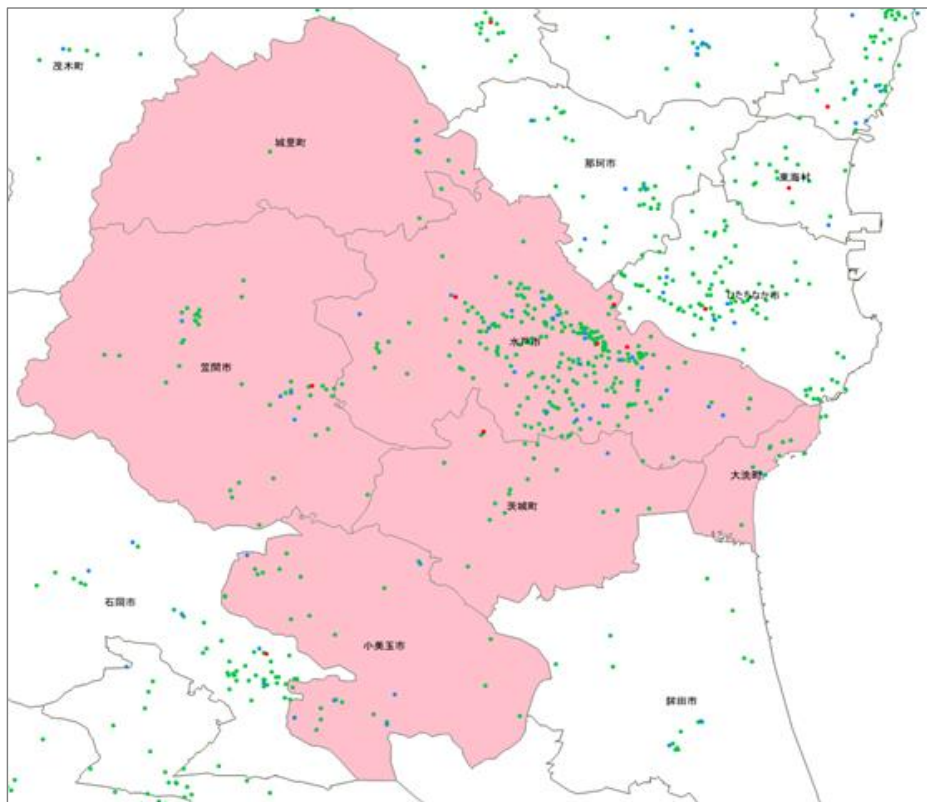
(単位：床)

	病院病床数※1			人口10万人対病院病床数※2		
	一般病床	療養病床	DPC 算定病床	一般病床	療養病床	DPC 算定病床
水戸 日立 常陸太田・ひたちなか 鹿行 土浦 つくば 取手・竜ヶ崎 筑西・下妻 古河・坂東						

※1：「平成25年医療施設調査」厚生労働省

※2：国立社会保障・人口問題研究所は「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」の2015年推計人口で算出したもの。

図 病院の配置状況（水戸医療圏のイメージ）



● — DPC (DPC、DPC準備病院)   ● — DPC以外の病院   ● — 診療所

【入院基本料・特定入院料等の届出病床数】

	稼働 病床数	入院基本料・特定入院料等の届出病床数										
		一般病棟 7対1 入院基本料	一般病棟 10対1 入院基本料	一般病棟 13対1 入院基本料	一般病棟 15対1 入院基本料	小児入院 医療管理料 4	特殊疾患 病棟入院料 2	亜急性期 入院医療 管理料 1	救命救急 入院料 1	地域包括 ケア 病棟入院料 1	療養病棟 入院基本料 1	療養病棟 入院基本料 2
〇〇病院												
〇〇〇〇病院												
〇〇病院												
〇〇〇病院												
〇〇病院												
合計												

出典：平成 26 年度病床機能報告

【救急への対応】

	告示・認定の有無		院内 トリアージ 実施料 (件/月)	夜間休日 救急搬送 医学管理料 (件/月)	精神科疾患 患者等 受入加算 (件/月)	救急医療 管理加算 1及び2 (件/月)	在宅患者 緊急入院 診療加算 (件/月)	救急搬送 患者 地域連携 紹介加算 (件/月)	休日に 受診した 患者延べ数 (人/年)	うち診察後 直ちに入院 となった 患者延べ数 (人/年)	夜間に 受診した 患者延べ数 (人/年)	うち診察後 直ちに入院 となった 患者延べ数 (人/年)	救急車の 受入件数 (件/月)
	救急告示 病院	二次救急 医療施設											
〇〇病院													
〇〇〇〇病院													
〇〇病院													
〇〇〇病院													
〇〇病院													
合計													

※「-」は無回答、「\*」は10人未満のためマスキング処理。

出典：平成26年度病床機能報告

【がん・脳卒中への対応】

	がん								脳卒中	
	悪性腫瘍手術	病理組織標本作成	術中迅速病理組織標本作成	放射線治療	化学療法	がん患者指導管理料1及び2	抗悪性腫瘍剤局所持続注入	冠動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術
	(件/月)	(件/月)	(件/月)	(件/月)	(件/月)	(件/月)	(件/月)	(件/月)	(件/月)	(件/月)
〇〇病院										
〇〇〇〇病院										
〇〇病院										
〇〇〇病院										
〇〇病院										
合計										

※「-」は無回答、「\*」は10人未満のためマスキング処理。

出典：平成26年度病床機能報告

【在宅医療への対応】

	届出の有無		退院後一か月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者数 (件/月)	退院後一か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者数 (件/月)	看取り数	
	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院			在宅医療を担当した患者のうち、医療機関以外での看取り数 (件/年)	在宅医療を担当した患者のうち、医療機関での看取り数 (件/年)
〇〇病院						
〇〇〇〇病院						
〇〇病院						
〇〇〇病院						
〇〇病院						
合 計						

※「-」は無回答、「\*」は10人未満のためマスキング処理。

出典：平成26年度病床機能報告

#### ④ 患者の医療需要の動向

##### 【高度急性期】

(単位：人/日 括弧内は必要病床数※4)

			医療機関所在地										合計	
			県内									栃木県		
			水戸	日立	常陸太田・ひたちなか	鹿行	土浦	つくば	取手・竜ヶ崎	筑西・下妻	古河・坂東	県南		
患者居住地	県内													
	合計													

※1：10人/日以下の地域については、マスキング処理により計上不能。以下同様。

※2：合計欄については、各医療圏の10人/日以上の数値の合計である。以下同様。

※3：必要病床数は、医療需要を病床稼働率（高度急性期0.75、急性期0.78、回復期0.9、慢性期0.92）で除算した値である。以下同様。

##### 【急性期】

(単位：人/日 括弧内は必要病床数)

			医療機関所在地										合計	
			県内									栃木県		埼玉県
			水戸	日立	常陸太田・ひたちなか	鹿行	土浦	つくば	取手・竜ヶ崎	筑西・下妻	古河・坂東	県南		利根
患者居住地	県内													
	合計													



【回復期】

(単位：人/日 括弧内は必要病床数)

			医療機関所在地													
			県内										栃木県	埼玉県	合計	
			水戸	日立	常陸太田・ ひたちなか	鹿行	土浦	つくば	取手・ 竜ヶ崎	筑西・下妻	古河・坂東	県南	利根			
患者 居住地	県内															
	合計															

【慢性期】

(単位：人/日 括弧内は必要病床数)

			医療機関所在地													
			県内										埼玉県	合計		
			水戸	日立	常陸太田・ ひたちなか	鹿行	土浦	つくば	取手・ 竜ヶ崎	筑西・下妻	古河・坂東	利根				
患者 居住地	県内															
	合計															

【がん】

	在住者(患者住所地) の医療需要(人/日)	流出者数・・・① (人/日)	医療機関(医療機関所在地) の医療需要(人/日)	流入者数・・・② (人/日)	流出入の差分 (②-①)(人/日)
高度急性期					
急性期					
回復期					
慢性期					
在宅医療等					
計					

患者流出先二次医療圏TOP20

	都道府県	二次医療圏	流出者数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

患者流出元二次医療圏TOP20

	都道府県	二次医療圏	流入者数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

【脳卒中】

	在住者(患者住所地) の医療需要(人/日)	流出者数・・・① (人/日)	医療機関(医療機関所在地) の医療需要(人/日)	流入者数・・・② (人/日)	流出入の差分 (②-①)(人/日)
高度急性期					
急性期					
回復期					
慢性期					
在宅医療等					
計					

患者流出先二次医療圏TOP20

	都道府県	二次医療圏	流出者数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

患者流出元二次医療圏TOP20

	都道府県	二次医療圏	流入者数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

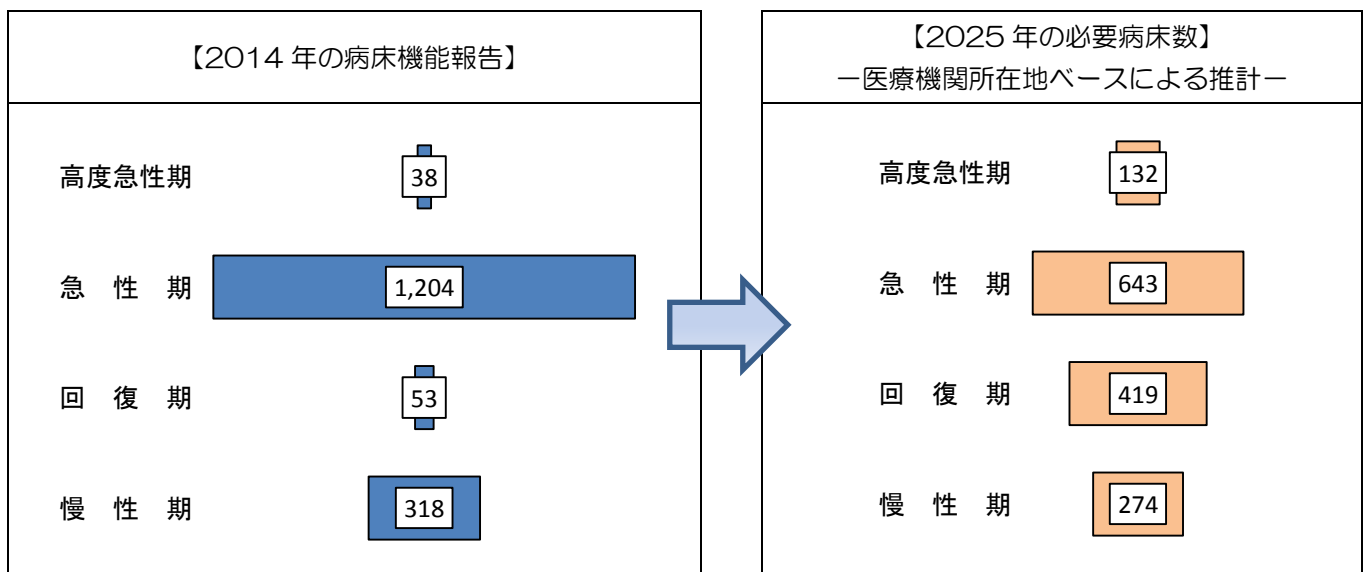
⑤ 2025年における必要病床数

【医療需要の推計結果】

図表 2025年における医療需要の推計結果

病床機能	許可病床数 (2013.10月)  a	必要病床数			差引(2025年)		増減率(2025年)	
		2013年	2025年		患者 居住地 ベース  d=b-a (※2)	医療機関 所在地 ベース  e=c-a (※2)	患者 居住地 ベース  f=d/a (※2)	医療機関 所在地 ベース  g=e/a (※2)
		患者 居住地 ベース	患者 居住地 ベース b (※1)	医療機関 所在地 ベース c (※1)				
高度急性期	(一般病床)							
急性期								
回復期								
慢性期	(療養病床)							
小計								

※1：上記の必要病床数に含まれる慢性期の医療需要推計については、パターンBを採用した場合の数値である。  
 ※2：許可病床数は一般病床、療養病床の2区分であるのに対し、2025年必要病床数は高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4区分であり、双方の区分が異なることから、差引欄、増減率欄の算出にあたっては、2025年必要病床数欄の数値のうち高度急性期、急性期、回復期の数値の合計値を一般病床の数値とみなし、慢性期の数値を療養病床の数値とみなして算出している。



⑥ 地域医療構想の実現に向けた今後の対応（施策）

- 今後の対応（施策）
- - 
  -

